



～おはなしと絵本を楽しむ～

第15号
2020年3月



まちこがれた春がやって来ました。けれども今年は新型コロナウイルスで大変なことになっています😞
ただただ、早く収まってくれることを祈るばかりです。いろんな制約がある中、体も心も元気であることが大切です。大人も子どもも、楽しめることを見つけて、ストレスなく穏やかに過ごしていけたらいいと思います。

こんな時こそ、日常生活でできないことを、本の中で体験して楽しんでみてはいかがでしょうか。時には声に出して読んでみると気持ちがいいですよ♪



春に聞きたいおはなし たにし長者



子どものないおじいさんとおばあさんが、水神様願をかけて、タニシのこどもを授かる。ふたりはそのタニシを神棚にまつて大事に育てるが、息子はいつか大きくなるところがある日、そのタニシが突然に口をきいた…。

一寸法師や桃太郎と同じ、小さな子が活躍するおはなしです。

親が子にかける思い、嫁の婿殿を大切に作る気持ちなど、ほのぼのと暖かい日本の昔話大人の人にも人気です。



子どもに語る日本の昔話2
こぐま社

春に読みたい絵本 ガンピーさんのドライブ



ガンピーさんがドライブに出かけました。途中で男の子と女の子、うさぎ、ねこ、いぬ、ぶた、ひつじ、にわとり、こうし、やぎを乗せていくことに。

やがて雨が降り出し、車はぬかるみにはまり込んで動けなくなりました。「だれかくるまをおりて、おさなくちゃなるまいよ」ガンピーさんの言葉にも、はじめは誰も協力しようとはしませんでした…。

優しいガンピーさんと動物たちの暖かな交流にほっこりします。「ガンピーさんのふなあそび」も。



ジョン・バーニンガム 作絵
光吉夏弥 訳
ほるぷ出版

12月～2月

図書館おはなし会のおはなし

- 12月 こびととくつや
- 1月 えとのはじまり
- 2月 ミアッカどん

お出かけおはなし会（学校・園など）

- 「干支のはじまり」「おししのくびはなぜながい」「王さまと九人のきょうだい」「おおかみと七ひきのこやぎ」「おっぼのつり」「こびととくつや」「だんだんのみ」「ねずみのすもう」「火の鳥と王女ワシリーサ」「ふしぎなたいこ」「ミアッカどん」「山の上の火」など

この冬も、たくさんのおはなしを語りました。また、小学校に出かけてブックトークもしました。また、2月には、読売新聞の「うちのセンセイ」というコラムで、大きな子のおはなし会を取り上げていただきました。センセイではないんですけど(笑)。メディアに取り上げていただくことで、少しでも多くの人に知っていただけたらうれしいです。おはなし会というと小さい子が聞くもの…と思っておられる方、一度体験していただけたら♪出張もいたします。



図書館大きな子のおはなし会

令和1年9月より変更

毎月第1土曜日 午前10時30分～
(30分程度)
おはなしのへやにて

内容：ストーリーテリングと絵本など
※予約はいりません。お気軽にご参加ください
ただし図書館が休館のときはありません

～想像の翼を大きく広げて～

耳から聞くおはなしの楽しさを多くの人に届けます。興味のある方はぜひ一度聴いてみてください。また、ご希望の場所に出かけて、おはなしを語ることも可能です。お気軽にご相談ください。

【おはなし会のお問い合わせ】
西脇市図書館（電話0795-23-5991）
パルランド 丸山（電話090-8930-0921）

パルランド通信は「パルランド」が発行しています。

